

CEのための

“今さら聞けない” 感染・消毒の 基本

医療現場では、感染から医療従事者自身が身を守るためにも、医療従事者自身が感染源とならないためにも、感染予防に関する知識が不可欠です。また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、さらに徹底した対策が行われています。

本号では、感染と消毒薬の基本について解説します。患者にとっても医療従事者にとっても、感染面から安全な環境を提供するべく、ご活用いただけますと幸いです。

Part 1 クリニカルエンジニアリング編集室編

Part 2 林 太祐（日本医科大学付属病院 薬剤部）

■引用・参考文献

- 1) 山口 諒, 高山和郎: 消毒薬, その実践と基礎知識, 環境感染誌 32(6): 330-336, 2017
- 2) 厚生労働省: 次亜塩素酸水と次亜塩素酸ナトリウムの同類性に関する資料(資料 4-2), 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会乳肉水産食品部会(平成 21 年 8 月 19 日開催)配布資料一覧, 2009
<https://www.mhlw.go.jp/shingi/2009/08/s0819-8.html> (2021 年 9 月 15 日現在)
- 3) 消化器内視鏡の感染制御に関するマルチンサエティ実践ガイド作成委員会(日本環境感染学会・日本消化器内視鏡学会・日本消化器内視鏡技師会): 消化器内視鏡の感染制御に関するマルチンサエティ実践ガイド[改訂版], 日本環境感染学会, S20, 2013
- 4) 吉田製薬文献調査チーム: 環境, 器具および環境, 消毒対象物による消毒薬の選択, 消毒薬テキスト—エビデンスに基づいた感染対策の立場から— 第 5 版, 小林寛伊(指導), 大久保 憲(監), 吉田製薬
https://www.yoshida-pharm.com/2012/text03_02_03/ (2021 年 9 月 15 日現在)
- 5) 小林寛伊(編): 消毒と滅菌のガイドライン 新版増補版, p12, 38, 39 へるす出版, 2015
- 6) Rutala WA: APIC guideline for selection and use of disinfectants. 1994, 1995, and 1996 APIC Guidelines Committee. Association for Professionals in Infection Control and Epidemiology, Inc., Am J Infect Control 24(4): 313-342, 1996
PMID: 8870916
- 7) European Pressure Ulcer Advisory Panel: Pressure ulcer treatment guidelines, European Pressure Ulcer Advisory Panel, 1999
- 8) 石塚紀元, 小林寛伊, 尾家重治: 消毒薬, 感染制御学, 小林寛伊(編), p125-156, へるす出版, 1996
- 9) Favero MS, Bond WW: Chemical disinfection of medical and surgical materials, In: Block SS, ed., Disinfection, Sterilization, and Preservation, 5th ed., p881-917. Lippincott Williams & Wilkins, 2001
- 10) CDC: Guideline for Disinfection and Sterilization in Healthcare Facilities, 2008 (Update: May 2019)
<https://www.cdc.gov/infectioncontrol/pdf/guidelines/disinfection-guidelines-H.pdf> (2021 年 9 月 15 日現在)